

句集  
遠  
汽  
笛

遠藤和彦

本阿弥現代俳句シリーズIX

本阿弥書店

薄野の暮れて秩父の遠汽笛

◎作者は、きっと幼い頃を思い出されているのか、薄野に日の暮れるまで佇んでいたのだろう。その時の遠汽笛は若くして逝かれたご尊父の声のように思えたのであろう。情と景の一致した誠に深い趣のある一作品であり、感銘を受けた。……………小澤克己(序より)

薄野の暮れて秩父の遠汽笛

春暁の湖に水脈曳く小舟かな

花吹雪音なき風のありにけり

落葉してなほ大木でありにけり

天涯の濤にただよふ都鳥

海に来て星を見てゐる十二月

早梅  
や木戸より入る  
芭蕉館

校庭に先師の像  
や花の昼

初雁やわが生涯に一師あり

嶺空に夏星ひとつ尊師逝く

蕉庵に「禪」の一文字涼新た

師恩得し道あり嶺を鷹渡る

紅葉散る信濃の峡の遠汽笛

父の手の温もり知らず冬銀河

わ  
が  
父  
に  
重  
ね  
し  
波  
郷  
寒  
椿

ひ  
ぐ  
ら  
し  
や  
母  
の  
日  
記  
の  
終  
の  
文  
字

時折はふはりと妻へ羽根をつく

わが道を正して嶺の寒北斗

万  
緑  
や  
酒  
工  
房  
に  
古  
き  
太  
刀

釣  
舟  
の  
び  
たり  
と  
湖  
の  
大  
西  
日

城跡に道の神あり雁渡し

つと止まる男こぶしや風の盆

雲水のふつと消えたる花の門

酒蔵に十一月の日射しかな

### 著者略歴

遠藤 和彦 (えんどう・かずひこ)

1935 (S10) 年11月9日 東京都杉並区和泉町に生まれる

1958 (S33) 年3月 法政大学経済学部卒業

1998 (H10) 年1月 「遠嶺」入会

2000 (H12) 年1月 「遠嶺」同人

2001 (H13) 年6月 「遠嶺」編集委員

2003 (H15) 年5月 俳人協会会員

現在：俳人協会会員・「遠嶺」同人 (高嶺集)・編集委員

現住所 〒354-0025 埼玉県富士見市関沢2-6-23

電話/FAX 049-251-7840

---

句集 <sup>とおきてき</sup>遠汽笛 〈本阿弥現代俳句シリーズIX〉

2003年9月1日 初版

定価：本体2800円 (税別)

著者 遠藤 和彦

発行者 本阿弥秀雄

発行所 <sup>ほんあみ</sup>本阿弥書店

東京都千代田区猿樂町2-1-8 三恵ビル 〒101-0064

電話 03(3294)7068 (代) 振替 00100-5-164430

印刷 熊谷印刷 製本 松栄堂製本所